

## 私立大学図書館協会 2006 年度第 1 回協会ホームページ委員会西地区連絡会

日 時 : 2006 年 (平成 18 年) 4 月 13 日 10:00 ~ 12:00  
場 所 : 久留米大学御井図書館 A V ホール  
出席者 : 石田信 (協会 HP 委員長: 南山大学図書館)、河合茂樹 (会長校: 龍谷大学学術情報センター)、北村泰治 (西地区部会長校: 久留米大学図書館)、高靖敏 (京都地区: 仏教大学学生部)、辻水衣 (中国・四国地区: 広島経済大学)、藤倉恵一 (協会 HP 委員会アドバイザー: 文教大学図書館)  
欠席者 : 鈴木卓美 (東海地区: 金城学院大学図書館)、長岡武史 (九州地区: 西南学院大学図書館)、中間久美子 (阪神地区: 大阪国際大学総合メディアセンター)  
五十音順 (委員氏名)

### 【 配布資料】

#### 1. 各地区状況報告

京都地区: 高委員から京都地区 HP の状況について報告がなされた。

高委員が図書館から人事異動することに伴い、京都地区 HP 連絡委員を京都文教大学の荒木氏が引き継ぐことが報告された。

京都地区協議会においては、HP 閲覧者 (以下、利用者) の増加につながる充実した HP の構築を検討している。

現状は、各種議事録については HP 上の公開はなされていないため、今後の課題であるとの報告がなされた。

中国・四国地区:

辻委員から中国・四国地区 HP の状況について報告がなされた。

各行事開催関係の情報が HP 連絡員 (HP 更新担当者) に伝達されない事態が頻発している。

理事校等から加盟校に対し、情報発信の重要性について、継続的に啓蒙していく必要があるとの報告がなされた。

東海地区: 石田委員から東海地区 HP の状況について報告がなされた。

埼玉コンソーシアムが行っている相互協力事業や、北海道地区において実施されているような地区内で特別に ILL 料金を設定している事例を参考に東海地区においても実施できないか検討中である。

また、相互協力事業を活性化させることにより、利用者がより活用できる HP の構築を目指したいとの報告がなされた。

## 2 . 2005 年度西地区部会第 3 回役員会における協議事項(第 7 項「地域間交流」)について

北村委員から 2005 年度西地区部会第 3 回役員会において複数地区に跨る交流が図れないかとの議論がなされたことについて、西地区 HP がどのように働きかけることができるのか協議したいとの提案にもとづき議論をおこなった。

各地区協議会においては、大学図書館が抱える様々な問題を取り上げ研修会が開催されている。

これらの研修会開催案内、内容、問題解決案等を詳細に西地区 HP にて情報発信をおこなうことで各地区を超えた関心が高まるのではないかとの議論がなされた。

西地区 HP 連絡会として、このような情報発信が有機的に機能するのか、各地区が開催する研修内容を情報収集し分析することとなった。

## 3 . 2006 年度協会 HP における事業計画、活性化(案)について

石田委員から 2005 年度第 2 回東西合同役員会において発言された内容の報告がなされた。

協会 HP が情報発信している中で有用と思われる情報は議事録程度であること、協会 HP 利用者は役員校に偏重している傾向にあること、協会最新情報「お知らせ」の発信を強化する必要があること等が東西役員会において発言された内容であった。

また、協会 HP 委員会において、RSS 機能を導入し、協会 HP 上で最新情報が公開されると、利用者が即時的に把握できる環境整備を準備していることが報告された。

しかしながら、協会 HP のコンセプト、利用者の位置づけを明確化し、ニーズに合わせた運用を目指すことも急務であるとの結論となった。

以 上